

新しい年を迎えて

小坂町長 細越 満

したが、年末になると感染が急拡大し、過去最多を更新するなど、いつ誰が感染してもおかしくない状況となっています。ワクチン接種とともに、バランスのよい食事、適度な運動と睡眠をとって、自己防衛できる体づくりを心がけたいものです。

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向になると、コロナと共生しつつ社会経済活動を正常化する動きが加速しました。7月には感染者数が過去最多を更新し続け、大館保健所管内の感染者も増えたことから、大館、鹿角両市長と3者連名による新聞広告や、広報こさか8月号には私からの緊急メッセージを掲出しました。9月後半からは落ち着きをみせていま

コロナ禍の影響が長期化する中、引き続き感染防止対策の徹底と、日常生活・経済活動の維持が必要で、「2類相当」から「5類」への引き下げが議論されていますが、国の動向を注視して、適切にワクチン接種を受けられるよう、万全を期してまいります。

ウイズコロナを見据えた日常生活・経済活動への支援は、各種事業を展開してまいりました。引き続き国や県の動向を踏まえながら、町民の安全確保、感染症の克服と地域及び経済活性化等に効果的な事業を検討してまいります。

このような状況の中、6月には、明治百年通りに会場を変更しコロナ対策を徹底しながら、3年

た小坂町の学校給食が高く評価されたものと思います。

また、定住人口の確保と増加を図り、町の活性化を促すため、民間活力を活用した定住化促進住宅2棟8戸を、上小坂地区に建設しています。完成予定は3月で、子育て世代を中心に多くの若い方々の入居をお待ちしております。

十和田湖和井内地区に整備を進めている「道の駅」は、内部展示施設と駐車場を整備し、今秋オープンを迎えます。国内外の多くの観光客に、十和田湖の魅力を発信してまいります。

町の将来像に掲げた「人と自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」の実現に向けて、現在の「まちや暮らしの中に共有財産として受け継がれている魅力を、地域の個性としてまちの発展に生かす」、住む人が愛着を持ち、訪れる人が感動するまちづくりとなるよう、皆さまのご協力のもと、職員と一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。

結びにあたり、町民皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。